

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	文化会館 係	事務事業No.	121132
事務事業名	冬期芸術大学事業			会計	一般会計
まちのテーマ	潤いのあるまち			款	2 項 1 目 13
施策目標	歴史文化の振興				
後期計画掲載頁	109 頁	個別計画	第4次生涯学習プラン	15 頁	
事業期間	平成 28 年 ~	平成 28 年	根拠法令・要綱等		

事業の概要
 芸術文化活動を担う新たな人材の発掘を目的として、パフォーマンス、空間美術、ファッション、企画プロデュースの4コースの講座を開設し、ワークショップを通じて創作舞台を制作するとともにその手法を学ぶ。

事業の目的
 芸術文化活動を担う新たな人材の発掘を目的として、コンテンポラリーダンスの創作舞台を創造。

事業内容
 11/12 4コース合同WS
 企画プロ 5回 パフォーマンス・空間・ファッション 10回 舞台発表 3/11・12 観客数約100人

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費(決算額)	3,000 千円	2,977 千円	4,308 千円
	国庫支出金	千円	千円	2,625 千円
	県支出金	千円	606 千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	3,000 千円	千円	千円
	一般財源	千円	2,371 千円	1,683 千円

活動指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度(H28)	達成率	次年度(H29)
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 受講者数	人	41	34	22	—	—	—
② WS開催回数	回	40	40	35	—	—	—
③ 開催コース	コース	4	4	4	4	100.0%	3

1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度(H28)	達成率	次年度(H29)
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 成果発表会観客	人	200	200	133	—	—	—
② 成果発表会	回	1	2	2	1	200.0%	1
③							
2. 数値で表せない効果		(指標)					

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 舞台創作の素材をコンテンポラリーダンスとしているため参加者が特定してきておりこの事業が市民間に十分浸透できていない。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	低い	普通	重複なし	低い
点数	3	1	2	3	1	2
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント(評価結果による改善案や今後の取り組み方法等)				
	やり方改善 評価点合計	平成24年度からの地域文化コーディネーター派遣事業から派生し、地域芸術文化を担う新たな人材発掘の場として、ワークショップの開催を通じて舞台創作の技術や課程を学ぶ場として特長ある取り組みを行っている。 一方で、舞台創作の素材をコンテンポラリーダンスとしているため参加者が特定してきており、市民への浸透が十分でなく、理解が進んでいる状況ではない。舞台創作の人材育成は重要な課題であるので、あり方の見直しを行い今後も事業展開していきたい。				
	12	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	大町公民館・文化会館 係	事務事業No.	15122
事務事業名	勤労者福祉施設運営管理事業			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	5 項 1 目 2
施策目標	豊かな人生を送れる生涯学習の推進				
後期計画掲載頁	112	頁	個別計画	第4次生涯学習プラン	23 頁
事業期間	平成 19 年	～	平成 28 年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
勤労者福祉施設運営管理を行い、生涯学習を実施するグループや団体の支援。

事業の目的
勤労者福祉施設(フレンドプラザ)の運営管理、貸館を行う。

事業内容
勤労者福祉施設(フレンドプラザ)の運営管理、貸館を行う。

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費(決算額)	2,039 千円	2,746 千円	2,203 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	254 千円	276 千円	607 千円
	一般財源	1,785 千円	2,470 千円	1,596 千円

活動指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度(H28)	達成率	次年度(H29)
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	利用回数	124	147	153	120	127.5%	150
②							
③							

1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度(H28)	達成率	次年度(H29)
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	利用者数	5,051	4,456	3,229	4,500	71.8%	4,000
②							
③							
2. 数値で表せない効果		(指標) 北アルプス平日夜間小児科・内科急病センターへの貸し出し					

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
施設の老朽化が進み抜本的なあり方の検討が必要。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	普通	普通	普通	重複なし	低い	改善の余地あり
点数	2	2	2	3	1	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント(評価結果による改善案や今後の取り組み方法等)					
	今後の方向性	継続	文化会館関連施設のなかでは、利用者は少ないが、大規模集会の際には重宝な施設である。また、北アルプス平日夜間小児科、内科急病センターとしての機能も重要である。施設の老朽化が進み抜本的なあり方の検討が必要。				
	評価点合計	12	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	女性未来館	係	事務事業No.	15123			
事務事業名	女性未来館ピュア一般経費					会計	一般会計				
まちのテーマ	人を育むまち					款	5	項	1	目	2
施策目標	豊かな人生を贈れる生涯学習推進										
後期計画掲載頁				頁	個別計画						頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等			

事業の概要
女性の就労支援と、女性問題に関する啓発活動の拠点施設管理。

事業の目的
新規就業者、中途採用者希望者を含む女性労働者、及び勤労家庭の女性を対象に円滑な就業の促進や資質の向上を図るための援助を行うとともに、女性問題に関する啓発活動を通じて問題意識の喚起や女性の意識向上を積極的に推進する。

事業内容
女性のための各種講座や講演会及びサークルなどが円滑に活動できる管理体制を図る。

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
事業費	総事業費（決算額）	2,251 千円	2,666 千円	2,571 千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	2,251 千円	2,666 千円	2,571 千円

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	貸館日数	日	345	345	335	330	101.5%	330
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	利用者数	人	21,820	21,900	22,846	25,000	91.4%	25,500
	②								
	③								
2. 数値で表せない効果 (指標)									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
施設の老朽化に伴い、破損物、消耗品が目立つ。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	普通	重複なし	高い	適正である
点数	3	3	2	3	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	健康志向のニーズが高く、健康講座に対しては想像以上の人数が集まった。引き続き健康講座をあらゆる工夫をして多く取り入れたい。また、定年を迎えたシニア時代から若い年齢までの広い幅の女性が輝ける人生をおくるような生涯学習の講座に取り組んでいきたい。				
	評価点合計	17	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	女性未来館	係	事務事業No.	15124			
事務事業名	女性未来館ピュア運営事業					会計	一般会計				
まちのテーマ	人を育むまち					款	5	項	1	目	2
施策目標	豊かな人生を贈れる生涯学習推進										
後期計画掲載頁				頁	個別計画						頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等			

事業の概要
女性の就労支援と、女性問題に関する啓発活動。

事業の目的
新規就業者、中途採用者希望者を含む女性労働者、及び勤労家庭の女性を対象に円滑な就業の促進や資質の向上を図るための援助を行うとともに、女性問題に関する啓発活動を通じて問題意識の喚起や女性の意識向上を積極的に推進する。

事業内容
男女共同参画担当主催の「男女共同参画に関する学習会」への協力。就労支援につながる資格取得講座、ライフサイクルにあわせた女性の健康支援の講座や講演会、託児ボランティア活動の人材育成講座など、各種講座、講演会の実施。

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
事業費	総事業費（決算額）	1,988 千円	2,000 千円	4,192 千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	1,988 千円	2,000 千円	4,192 千円

活動指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	ピュア女性講座開催	17	17	18	18	100%	18
②	サークル育成事業	8	8	8	8	100%	8
③							

1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	ピュア女性講座参加者	1,116	939	956	900	106.2%	950
②	利用サークル数	527	585	620	600	103.3%	620
③							
2. 数値で表せない効果		（指標 ）講座参加者の託児の実施、子育て世代の趣味、教養の幅を広げまた、シニア世代の健康増進、生きがいの場を提供することが出来る。					

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
高齢化が進む中、勤労女性が増えたため、若い女性の受講者が少ない。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	普通	一部重複	高い	適正である
点数	3	3	2	2	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	健康志向のニーズが高く、健康講座に対しては想像以上の人数が集まった。引き続き健康講座をあらゆる工夫をして多く取り入れたい。また、定年を迎えたシニア時代から若い年齢までの広い幅の女性が輝ける人生をおくるような生涯学習の講座に取り組んでいきたい。				
	評価点合計	16	/ 18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習課	課	八坂公民館	係	事務事業No.	110128			
事務事業名	山村留学事業					会計	一般会計				
まちのテーマ	人を育むまち					款	10	項	1	目	2
施策目標	学校教育の充実										
後期計画掲載頁				頁	個別計画						頁
事業期間	平成	18	年	～	平成		年	根拠法令・要綱等			

事業の概要
 都会から山村へ留学生を受け入れ、異年齢集団の中で物の大切さや思いやり、体験活動を通じて情操教育の向上を図る。地元の小学校児童、中学校生徒が減少し、学校運営に支障をきたしているため、山村留学生の受け入れを支援している。

事業の目的
 山村留学生を受け入れて交流することにより、地元の小中学生、留学生双方の健全育成を助長する。複式学級の回避の他、各方面の教育効果の高揚を図る。情報や人的交流により、友人関係を構築し地域活性化に寄与する。

事業内容
 山村留学実施主体の公益財団法人育てる会と受入農家を支援する山村留学推進協議会へ補助を行っている。

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
事業費	総事業費（決算額）	18,000 千円	18,200 千円	18,200 千円	
	財源内訳	国庫支出金			
		県支出金			
		起債	12,600 千円	12,600 千円	12,600 千円
		その他財源			
		一般財源	5,400 千円	5,600 千円	5,600 千円

活動指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 受入農家数	戸	7	9	9	10	90.0%	11
②							
③							

1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 山村留学児童生徒数	人	28	31	31	31	100.0%	32
②							
③							

2. 数値で表せない効果
 （指標）山村留学生と地元の児童、生徒は、お互いを尊重し合い、切磋琢磨し学習に取り組んでいる。また、毎年山留OBと地元の交流会を実施しており、棚田でのコメづくりを通じて都市との交流を図ると共に、農地の保全に寄与している。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 受入農家の高齢化が進み、新規の農家確保が課題である。地区説明会等を開催し、理解を得る活動を進める。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である
点数	3	3	3	3	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	山村留学生を受け入れることにより、地元の小中学生への相乗効果が期待できる。八坂及び美麻地区の児童生徒が減少している中で、山村留学生の受け入れは学校運営に今後も必要である。				
	評価点合計	18	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	生涯学習・青少年	係	事務事業No.	110412			
事務事業名	社会教育総務一般経費					会計	一般会計				
まちのテーマ	人を育むまち					款	10	項	4	目	1
施策目標	豊かな人生を送れる生涯学習の推進										
後期計画掲載頁	112		頁	個別計画		第6期社会教育計画			8	頁	
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等					

事業の概要
 社会教育や美術振興の推進について、各付属機関からの提案や意見を事業へ反映していく。また、市民が主となって組織され、継続的に開催している事業に対して負担金を支出し、協働による事業実施を支援する。

事業の目的
 市が行う各種事業を、より市民に参加いただける事業として開催できるように、意見をいただきながら取り組む。また、市民が自主的に継続して取り組んでいる事業への支援を行う。

事業内容
 社会教育委員会議で、計画が終了する第6期大町市社会教育計画の評価を実施し、新たな第7期大町市社会教育計画を策定した。市民の自主的で継続して開催している事業への支援は、第15回雪形まつりへ1,300千円、安曇野アートライン推進協議会へ150千円を負担金として支出している。また、成人式を大町市、教育委員会主催で8月15日に開催している。

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
事業費	総事業費（決算額）	2,804 千円	2,828 千円	2,878 千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	2,804 千円	2,828 千円	2,878 千円

活動指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 社会教育委員会議開催	回	4	4	6	5	120.0%	4
② 成人式の開催	回	1	1	1	1	100.0%	1
③ 負担金の支出	箇所	3	3	2	3	66.7%	2

1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 成人式の参加者	人	229	251	251	260	96.5%	260
② 雪形まつりの参加者	人	400	300	300	400	75.0%	350
③							

2. 数値で表せない効果
 （指標 ）雪形まつりは、この地域独自のものであり、子どもたちにとっては、発表や体験の場として、貴重なものとなっている。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 雪形まつりは、「しあるの会」主催で市民活動により開催されていたが、諸事情により事業継続が難しくなったため、実行委員会を組織し、行政の関与のもと開催されてきたものである。以前は実行委員会が主体的に運営し、行政の関与はかなり限定的なものとなっていたが、ここ数年は行政が主体となって運営している状況であり、開催内容や運営体制等を含め、今後のあり方を検討する必要がある。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
評価	高い	高い	普通	一部重複	普通	改善の余地あり	
点数	3	3	2	2	2	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	社会教育計画は、住民生活や地域社会の学習活動を進めるとともに、まちづくりにも影響を与えるため、社会教育委員会議において、年度ごと評価し進捗管理に取り組んでいく。北アルプス雪形まつりは春の文化芸術の行事として継続して開催しているが、事業の推進体制は、市民自らが考え、運営し、創りあげる主体的な活動となり、より多くの市民に親しまれるよう、現在の行政主体の推進方法を再検討する時期に来ている。				
	評価点合計	14	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	生涯学習・青少年	係	事務事業No.	110413			
事務事業名	社会教育施設運営管理費					会計	一般会計				
まちのテーマ	人を育むまち					款	10	項	4	目	1
施策目標	豊かな人生を送れる生涯学習の推進										
後期計画掲載頁	112		頁	個別計画		第6期社会教育計画				41	頁
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等					

事業の概要
大町公民館分室、蔵の音楽館、ギャラリー・いーずら及び信濃木崎夏期大学の管理を行う。

事業の目的
市民等によるサークル活動の活性化を図るため、施設の貸館や保守を行う。信濃木崎夏期大学は指定管理施設であるため、指定管理者の主体的な運営を促し、地域の生涯学習の拠点として活用する。

事業内容
囑託及び臨時職員を配置し、施設の管理及び貸館業務を実施している。また、施設のエレベーターなどが安全に利用できるように、保守管理業務を委託するとともに、必要な修繕を行い、施設の維持管理に努めている。今年度は、大町公民館分室において屋根修繕を実施した。

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	総事業費（決算額）	9,403 千円	9,601 千円	18,094 千円
	財源内訳			
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	9,403 千円	9,601 千円	18,094 千円

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	大町公民館分室開館日数	日	294	291	292	290	100.7%	290
②	蔵の音楽館開館日数	日	294	291	292	290	100.7%	290
③	ギャラリー開館日数	日	166	139	159	150	106.0%	150

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	大町公民館分室利用者数	人	23,957	22,925	22,117	24,000	92.2%	24,000
	②	蔵の音楽館利用者数	人	869	754	597	900	66.3%	900
	③	ギャラリー入場者数	人	2,504	2,486	2,333	2,500	93.3%	2,500
2. 数値で表せない効果 (指標)									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
施設の利用者が固定化していることもあり、新規の利用の開拓に努める必要がある。経年劣化による施設の維持、補修が必要となっている。他施設も含めて、計画的な改修について検討が必要である。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	3	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	大町公民館分室は多くの利用者があるが、施設の老朽化により計画的な修繕を要する状態になってきている。他施設を含めて年次計画を作成し、計画的な修繕や備品更新を行いたい。なお、ギャラリー・いーずらは民間施設を賃貸している物件であり、開館以来20年を経過しているため、これまでの成果や課題及び施設利用の有用性などを総括して、事業実施自体から検討し、今後のあり方（移転・廃止・継続）を検討する時期にある。				
	評価点合計	17	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	生涯学習・青少年	係	事務事業No.	110414			
事務事業名	エネルギー博物館運営費助成事業					会計	一般会計				
まちのテーマ	人を育むまち					款	10	項	4	目	1
施策目標	豊かな人生を送れる生涯学習の推進										
後期計画掲載頁	112		頁	個別計画		第6期社会教育計画				41	頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等			

事業の概要	エネルギー博物館の運営費の補助金。
事業の目的	エネルギー博物館の運営に要する費用に充てるため補助金を交付する。
事業内容	運営費の助成として、経常経費分と修繕工事等臨時的費用分の合計額を補助している。

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費(決算額)	14,769千円	13,310千円	12,460千円
	国庫支出金			
	県支出金			
	起債			
	その他財源			
	一般財源	14,769千円	13,310千円	12,460千円

活動指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度(H28)	達成率	次年度(H29)
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 開館日数	日	201	200	205	200	102.5%	200
②							
③							

1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度(H28)	達成率	次年度(H29)
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 入館者数	人	9,005	8,950	8,494	10,000	84.9%	10,000
② 入館料	円	2,551,530	2,472,060	2,254,120	2,700,000	83.5%	2,700,000
③							
2. 数値で表せない効果 (指標)							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等

財団法人の運営であるため、理事会で判断することであるが、事業費の8割を補助金でまかなう状況にあるとともに、社会教育施設としての位置付けをふまえて、今後の運営について根本的に検討する時期に来ている。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	普通	普通	普通	重複なし	普通	改善の余地あり
点数	2	2	2	3	2	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント(評価結果による改善案や今後の取り組み方法等)					
	今後の方向性	やり方改善	平成28年度の入館者数は8,494人で前年度比5.1%の減となり、目標の1万人には届かなかった。また、入館料は前年度比8.8%の減となった。今後、施設の老朽化による修繕や展示品の更新について、懇話会の意見を聴きながら、検討していく必要がある。収益の約8割を補助金に依っている。29年度はプラネタリウムの観覧料を200円から300円に引き上げたが、入場者が減少したため前年度とほぼ同じ収入であった。財務状況は、現金収支の悪化が続いており、今後の現金収入の確保を図るため、入館料収入の増のための対策が急務である。				
	評価点合計	13	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	生涯学習・青少年 係	事務事業No.	110415
事務事業名	公民館分館整備事業			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 1
施策目標	社会教育の充実と活性化				
後期計画掲載頁	119	頁	個別計画	第6期社会教育計画	41 頁
事業期間	平成	年	～	平成	年 根拠法令・要綱等

事業の概要
 地域住民の生涯学習活動や地域活動の拠点となる公民館分館及び地域集会施設の改築、改修に対して補助金を交付し、施設整備を図る。

事業の目的
 地域の公民館等の施設整備を図ることにより、地域住民の交流や生涯学習の場とする。

事業内容
 施設改修、改築、下水道接続などの費用に対し、事業費の1/3を補助する。（上限あり）

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	15,546 千円	1,311 千円	914 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	15,546 千円	1,311 千円	914 千円

活動指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	改修施設数	3	2	2	2	100.0%	1
②							
③							

1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①					—	—	—
②					—	—	—
③					—	—	—

2. 数値で表せない効果
 （指標 ）施設改修が行われたことにより、地域における自治会、公民館の活動拠点が整備され、それに伴って地域の活動の継続、発展が見込まれる。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 計画的に改修等を行う自治会等の要望に沿っているため、補助事業自体に特段の課題は無いと考える。しかし、今後の自治会等については、人口減少や高齢化、自治会離れ、自治会予算の減少等の課題があり、自治会等の運営や分館等の維持管理が継続的に行われるかどうか懸念されるところである。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	3	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	地域のコミュニティ施設である公民館や集会所の施設整備は、耐震改修、下水道接続などこれからも要望が見込まれるため、今後も継続していくことが必要と考える。補助制度については、連合自治会総会時や10月広報、自治会のしおりで紹介しており、より適切な周知について検討したい。平成28年度の実施施設は、北条屋敷公民館、高見町公民館の二館である。				
	評価点合計	17	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	生涯学習・青少年 係	事務事業No.	110416
事務事業名	生涯学習推進事業			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 1
施策目標	豊かな人生を送れる生涯学習の推進				
後期計画掲載頁	112 頁	個別計画	第6期社会教育計画		39 頁
事業期間	平成 年	～	平成 年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
生涯学習のまちづくり推進本部委員会会議の開催。
子ども向けの情報誌「がったつうしん」を発行し、各種行事・イベントや体験活動の情報を提供し、子どもたちの生きる力につながる機会を確保する。

事業の目的
全市的な広がりのある多様な生涯学習活動を推進するため、推進本部委員会会議を開催する。
「がったつうしん」は、広く情報の収集を行い、情報を市民の皆様にご提供することにより、行事等への参加による親子のふれあう機会とするとともに生きる力につながる機会とする。

事業内容
推進本部委員会会議を開催して、生涯学習のまちづくりの取り組み状況を報告し、ご意見をいただいている。
「がったつうしん」は年4回発行し、市内学校及び事業所等へ送付し活用いただいている。

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	5,820 千円	390 千円	444 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	5,820 千円	390 千円	444 千円

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	がったつうしん発行	回	4	4	4	4	100.0%	4
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①						—	—	—
②						—	—	—
③						—	—	—
2. 数値で表せない効果 （指標 ）推進本部委員会会議の意見を参考にして、事業等へ反映している。								

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
リーダーバンク制度や職員出張講座の利用促進と、定期的なメニューの見直し等が必要である。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	普通	普通	普通	重複なし	普通	適正である
点数	2	2	2	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	推進本部委員会会議の意見を参考に、リーダーバンクや職員出張講座について活用を広く周知し、各制度の利用による生涯学習活動をさらに促進したい。 「がったつうしん」は、電子ブック「デジまち」への掲載をし、インターネットやスマートフォンなどにも対応した情報発信に努めていきたい。				
	評価点合計	14	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	人権教育 係	事務事業No.	110417
事務事業名	人権教育推進事業			会計	一般会計
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち			款	10 項 4 目 1
施策目標	一人ひとりが平等で尊重される社会の形成				
後期計画掲載頁	45 頁	個別計画	大田市人権教育及び人権啓発に関する基本方針 頁		
事業期間	平成 年	～	平成 年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
 人権教育を通じて市民一人ひとりが人権問題を自分自身の問題としてとらえ、学校、地域、職場、企業が一体となった人権教育に総合的に取り組むことが出来るよう、地域全体で人権意識を培い、人権尊重の精神を高め、一人ひとりを大切に人権教育の推進を図る。

事業の目的
 様々な人権課題に対する深い理解と認識により、人権を尊重し差別のない明るい市民参加と協働の町づくりを進める。

事業内容
 人権教育推進協議会・企業人権教育推進協議会の研修、学校人権教育研究委員会による各学校での活動、市内6地区での人権を考える市民の集いの開催や人権教育指定校の公開授業（2校）の開催、人権作品集「ヒューマンライツ」の作成及び作品集を使った啓発事業、市内小中高の実践記録の作成等行っている。

事業費	年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
	総事業費（決算額）		4,197 千円	4,150 千円	3,955 千円
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
一般財源		4,197 千円	4,150 千円	3,955 千円	

活動指標	指標名		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	人権を考える市民の集い	回数	6	6	6	6	100.0%	6
	②	企業人権教育推進協議会	回数	1	1	1	1	100.0%	1

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成29年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	人権を考える市民の集い	人	1701	1756	1831	1710	107.1%	1710
	②	企業人権教育研修会参加	人	63	94	87	70	124.3%	70

2. 数値で表せない効果
 人権教育の推進により、市民ひとりひとりが、他の人を思いやる気持ちや互いを尊重しあう心を醸成し、地域のつながりや協力関係を円滑に築く要因となることで、協働のまちづくりの推進に寄与している。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 同和問題をはじめ、女性、子ども、障がい者、外国人などの問題のほか、近年はインターネット等を悪用した人権侵害や、子供・高齢者に対する虐待など新たな人権侵害問題が顕在化してきている。真に人権が尊重される地域づくりを目指して人権感覚を磨き、人権問題を自身の問題と受け止め自らの行動に結びつけていける学習活動を継続していく必要がある。

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	普通	高い	一部重複	普通	適正である
	点数	3	2	3	2	2	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	学校人権教育研究委員会については、各校での年間通した実践を基盤とし、市内の小中学校以外に、高校、保育園、幼稚園からも参加協力が得られている。未就学児童から高校生までの人権教育について研究の機会、情報交換、連携ができています。公開授業については、学校教育への理解を含め、一般参加者をさらに募っていく。様々な機会を使い啓発事業を推進しているが、意識の改革を目的としているので、継続した取り組みが必要である。併せて、企業における職場内研修にも期待したい。				
	評価点合計	15	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	生涯学習・青少年	係	事務事業No.	110421			
事務事業名	補導・環境浄化活動事業					会計	一般会計				
まちのテーマ	人を育むまち					款	10	項	4	目	2
施策目標	家庭と地域で育む教育の推進										
後期計画掲載頁	118		頁	個別計画	第6期社会教育計画					19	頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等			

事業の概要
 青少年センターが市内各地域等から推薦された補導委員とともに、街頭補導活動や健全育成のための啓発を行う。

事業の目的
 青少年補導委員を委嘱し、街頭補導活動、環境浄化活動に取り組み、青少年の健全育成に取り組む。

事業内容
 青少年補導委員82名を委嘱し、14班編成として下校時等に56回の街頭補導活動を実施した。また、各種研修会を開催し青少年のおかれている現状を把握し、活動の参考としていただいた。

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
事業費	総事業費（決算額）	2,835千円	2,835千円	2,848千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	2,835千円	2,835千円	2,848千円

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	街頭補導活動	回	55	55	60	56	107.1%	56
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①					—	—	—
	②					—	—	—
	③					—	—	—
2. 数値で表せない効果 （指標 ）補導委員の街頭補導活動等により、青少年の有害な環境の改善、非行防止に効果が出ている。								

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 補導委員について、高齢化や自治会からの選出が困難になっているところもあるので、選出方法や活動内容等の見直しを検討する必要がある。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	3	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	当市においては、青少年非行について、確認できる範囲では大きな問題は生じていない状況にある。街頭補導の際には巡回しても子どもたちに会うことが少ないと意見を頂戴しているが、巡視活動自体が抑止効果を期待できるため、継続して活動に取り組むことが必要である。ただし、補導委員の高齢化等により、活動が難しい状況がでてきているため、活動日数は抑え、集中的かつ重点的な補導活動を行うことで、補導委員の負担の軽減を図りたい。				
	評価点合計	17	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	生涯学習・青少年	係	事務事業No.	110422			
事務事業名	青少年育成事業					会計	一般会計				
まちのテーマ	人を育むまち					款	10	項	4	目	2
施策目標	家庭と地域で育む教育の推進										
後期計画掲載頁	118		頁	個別計画		第6期社会教育計画			15		頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等			

事業の概要
 地域全体で青少年健全育成に取り組む。

事業の目的
 地域の子どもは地域で育てるため、地域の子ども会育成会の活動支援や市民全体で青少年の健全育成に取り組む。

事業内容
 子ども会育成会の活動支援として、低廉な利用料でバスを使用できる「子ども体験学習号」を運行している。毎年8月に市民全体で健全育成に取り組む「青少年育成市民大会」を開催し、青少年健全育成に寄与された方々の表彰や、青少年健全育成に係る分科会を実施している。未就労、引きこもりの若者について、関係機関と協力して、人とかかわりが持てるよう積極的な相談活動を展開し、次に向けて少しでも動き出すことができるよう援助している。

事業費	財源内訳	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
		総事業費（決算額）	3,110千円	2,851千円	3,058千円
		国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
一般財源		3,110千円	2,851千円	3,058千円	

活動指標	指標名		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
	実績値		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	青少年育成市民大会	回	1	1	1	1	100.0%	1
	②								
③									

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	子ども体験学習号利用数	件	14	14	14	15	93.3%	15
	②								
③									
2. 数値で表せない効果		(指標)							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 各地区、市全域で少年、ジュニア、シニアリーダー研修会を開催し、それぞれ大勢の参加がある。しかし、本来の目的である自主的活動への取組みにはなかなか結びつかない状況である。各地区と市全域のリーダー研修会の連携や、リーダーの人材情報と活動の場の提供を検討する必要がある。（なお、名称をリーダー研修会としているが、あまり大上段に構えず、子どもたちの居場所、体験の場として活用してしてもらえればとも考えている。）

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	一部重複	普通
点数	3	3	3	2	2	2
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	今後の方向性	継続	青少年育成市民大会は、分科会などで参加者の発言の機会を設けており、参考事例や、様々な問題などについて現況を共有し、市民全体で青少年の健全育成に取り組む体制を構築していく必要がある。今後も、より多くの市民に参加していただけるよう、分科会の内容を時代に合ったものを設定し、開催していきたい。			
	評価点合計	15	18			

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	大町公民館 係	事務事業No.	110432
事務事業名	大町公民館一般経費			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 3
施策目標	社会教育の充実と活性化				
後期計画掲載頁	119 頁	個別計画	第4次生涯学習プラン	23 頁	
事業期間	平成 19 年	～	平成 28 年	根拠法令・要綱等	

事業の概要	公民館事業の充実と自主的な活動の促進。
事業の目的	学習活動の推進、利用登録団体の登録促進と施設利用の促進。
事業内容	公民館施設の管理、施設の貸館。

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	1,240 千円	1,282 千円	1,419 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	269 千円	255 千円
	一般財源	1,240 千円	1,013 千円	1,164 千円

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
活動指標	① 貸館日数	294	280	291	290	100.3%	290
	②						
	③						

1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 利用者数	人	25,551	23,838	21,209	26,000	81.6%	22,000
② 利用回数	回	1,934	1,980	1,750	1,900	92.1%	1,800
③							
2. 数値で表せない効果 (指標)							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等

開館以来31年となり、施設の老朽化が進み設備機器を中心に更新が必要な時期を迎えている。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	高い	普通	重複なし	普通	改善の余地あり
点数	3	3	2	3	2	2
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	継続 評価点合計 15 / 18	文化会館と一体になって、有用な施設である。施設の老朽化が進み計画的な改修が必要。				

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	大町公民館 係	事務事業No.	110433
事務事業名	大町公民館活動費			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 3
施策目標	社会教育の充実と活性化				
後期計画掲載頁	119 頁	個別計画	第4次生涯学習プラン	23 頁	
事業期間	平成 19 年	～	平成 28 年	根拠法令・要綱等	

事業の概要	学習活動の充実や文化活動の推進。
事業の目的	公民館事業の充実を図り、地域づくりの拠点施設を目指す。
事業内容	分館事業補助金交付、分館講座の開設支援、大町文化祭開催、北アルプス囲碁・将棋大会開催(2回)、講座の開設(外国人のための日本語教室・すくすく広場・菊づくり講座・デジカメ講座・料理教室など)

事業費	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	総事業費(決算額)	1,764 千円	2,085 千円	2,312 千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
一般財源	1,764 千円	2,085 千円	2,312 千円		

活動指標	指標名	単位	平成26年度 実績値	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	前年度(H28) 目標値	達成率 (%)	次年度(H29) 目標値
	① 公民館講座開催	回	67	70	72	70	102.9%	70
	② 体育事業	回	4	4	4	5	80.0%	4
	③ 文化事業	回	3	3	3	3	100.0%	3

成果指標	1. 数値で表せる指標	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度(H28)	達成率	次年度(H29)	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	① 公民館講座開催	人	1,305	1,155	1,057	1,200	88.1%	1,000
	② 体育事業	人	885	914	924	900	102.7%	900
	③ 文化事業	人	10,528	10,371	12,369	10,000	123.7%	12,000
2. 数値で表せない効果	(指標)							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等

旧大町地区を活動区域とする公民館であり、人口減少、高齢化が顕著で従前の活動を継続することが難しい状況になってきている。各種事業の効果検証を行い、事業の在り方を今後見直していく。

評価	項目	必要性	有効性	効率性			
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	普通	重複なし	普通	適正である
	点数	3	3	2	3	2	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント(評価結果による改善案や今後の取り組み方法等)					
	拡大	文化会館と一体となった運営を行うことにより、趣味の活動を支援するといった重要な機能を果たしている。講座等の充実を図り市民に親しまれる会館運営を行う。					
	評価点合計	16 / 18					

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	平公民館	係	事務事業No.	110434
事務事業名	平公民館一般経費			会計	一般会計	
まちのテーマ	人を育むまち			款	10	項 4 目 3
施策目標	社会教育の充実と活性化					
後期計画掲載頁		頁	個別計画			頁
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等

事業の概要	地域住民の学習・文化・体育活動の拠点として、地域住民の利用に供する。
事業の目的	公民館事業の充実を図り、地域づくりの拠点施設を目指す。
事業内容	地域住民の学習・文化・体育活動等への施設利用を図る。公民館講座および自治会・子ども会育成会・社会福祉等の地域団体との共催事業による施設利用を図る。

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	10,702 千円	13,808 千円	8,975 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	10,702 千円	13,808 千円	8,975 千円

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	貸館日数	日	345	345	335	330	101.5%	330
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	利用者数	人	21,820	21,900	22,846	25,000	91.4%	25,000
②								
③								
2. 数値で表せない効果 (指標)								

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等

施設・設備の老朽化が著しい。今後、地域の活動拠点としての役割を担っていくうえで、機能向上と利用環境の快適化を図るために、設備・施設の計画的な改修を行う必要がある。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	普通	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	2	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	施設・設備の老朽化が著しい。今後、地域の活動拠点として担っていくうえで、機能向上と利用環境の快適化を図るために、施設・設備の計画的な改修を行う必要がある。				
	評価点合計	16	/ 18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	平公民館	係	事務事業No.	110435			
事務事業名	平公民館活動費					会計	一般会計				
まちのテーマ	人を育むまち					款	10	項	4	目	3
施策目標	社会教育の充実と活性化										
後期計画掲載頁				頁	個別計画						頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等			

事業の概要
 地域住民の学習・文化・体育活動等の拠点として、地域住民の関心・要望や地域社会の課題を把握しながら、多様で高度な生涯学習の機会提供に努めるとともに、地域住民の自主的な学習活動や地域コミュニティを支援する。

事業の目的
 公民館事業の充実を図り、地域づくりの拠点施設を目指す。

事業内容
 地域住民参加による運動会・球技大会等の体育事業を実施。住民の関心・要望や地域課題に取り組む講座を開設。自治会・子ども会育成会・社会福祉等の地域活動の支援およびこれらとの共催により事業を実施。

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
事業費	総事業費（決算額）	1,212 千円	1,065 千円	913 千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	1,212 千円	1,065 千円	913 千円

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	公民館体育事業	回	6	6	6	6	100.0%	6
②	公民館講座	コース	8	7	5	10	50.0%	10
③	自主学習活動支援	件	7	3	6	10	60.0%	10

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	体育事業参加者	人	410	400	722	800	90.3%	800
	②	公民館講座受講者	人	221	107	121	250	48.4%	250
③	自主学習活動サークル	団体	72	68	74	70	105.7%	70	
2. 数値で表せない効果									
（指標 ） 自主学習活動サークルの中には、自身の学習活動ばかりでなく、福祉施設等への慰問や独自の発表会を開催するグループもみられ、学習成果の活用がみらせる。									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等

高齢化等により、サークルの活動を維持するのが困難な団体も増えてきている。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	普通	重複なし	高い	適正である
点数	3	3	2	3	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	公民館体育事業は、出場者を募るために各地区役員が苦慮している。参加チームの減少、さらには競技が成立しない種目さえみられる。自治会未加入世帯の増加、少子高齢化、ライフスタイルの変化などの原因が考えられるが、コミュニティ活動の充実に資するという事業の意義を堅持しつつ、実情を勘案して立案するよう改善が求められる。				
	評価点合計	17	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	常盤公民館 係	事務事業No.	110436
事務事業名	常盤公民館一般経費			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 3
施策目標	社会教育の充実と活性化				
後期計画掲載頁	頁	個別計画	大町市社会教育計画（第6期）、第4次大町市生涯学習推進プラン		
事業期間	平成 25 年	～	平成 29 年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
 常盤地区の分館事業や生涯学習活動などの拠点としての施設を管理・運営するとともに、地域住民の身近な行政機関としての窓口業務を行っている。

事業の目的
 地域住民が安心して施設を利用できるよう、適正な維持管理に努めることを目的とする。

事業内容
 窓口業務、貸館業務、公民館運営審議会、施設管理業務委託、清掃業務委託、自動扉開閉装置保守点検業務委託など

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
事業費	総事業費（決算額）	10,220 千円	37,536 千円	17,604 千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	230 千円	251 千円	270 千円
		一般財源	9,990 千円	37,285 千円	17,334 千円

活動指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	貸館日数	301	301	291	300	97.0%	293
②							
③							

成果指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	利用件数	1,167	1,211	1,307	1,200	108.9%	1,200
②	利用者数	15,704	15,518	20,430	16,000	127.7%	16,000
③							
2. 数値で表せない効果 (指標)							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等

- 他館にも該当することだが、市内6公民館の貸館業務における明確な共通の基準がないので、早急に整備する必要がある。
- 南小学校に隣接しているため、放課後の小学生の利用が多く、多いときには30名程度来館する。時には子ども同士のケンカなども発生するので、児童クラブの在り方にも配慮しつつ、保育士経験者等の配置も検討する必要がある。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	普通	重複なし	普通	改善の余地あり
点数	3	3	2	3	2	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	常盤公民館は、地域コミュニティの拠点施設であるとともに避難施設でもあるが、建築後30年近く経過し、老朽化により施設内の様々な設備が破損してきている。地域住民が安心して施設を利用できるよう、計画的な修繕を行い、適正な維持管理に努める。				
	評価点合計	15 / 18					

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	常盤公民館 係	事務事業No.	110437
事務事業名	常盤公民館活動費			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 3
施策目標	社会教育の充実と活性化				
後期計画掲載頁	119	頁	個別計画	大町市社会教育計画（第6期）、第4次大町市生涯学習推進プラン	
事業期間	平成 25 年	～	平成 29 年	根拠法令・要綱等 社会教育法	

事業の概要
 地域住民にとって最も身近な学習拠点であり、交流の場である公民館の役割を果たすため、住民のニーズに応じた各種講座の実施や地域コミュニティの活動である体育事業・文化事業等の支援を行う。

事業の目的
 地域の生涯学習の推進、地域のコミュニティ力向上の支援、青少年の健全育成の支援。

事業内容
 体育事業、文化事業、講座事業、青少年健全育成、分館活動支援ほか。

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
事業費	総事業費（決算額）	949 千円	992 千円	926 千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	949 千円	992 千円	926 千円

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	体育事業	回	3	2	2	3	66.7%	3
②	文化事業	回	2	2	2	2	100.0%	2
③	講座事業	回	63	49	33	50	66.0%	45

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	体育事業参加者	人	1,046	363	348	1,000	34.8%	1,000
	②	文化事業参加者	人	222	366	360	370	97.3%	360
	③	講座事業参加者	人	1,069	1,556	978	1,500	65.2%	600
2. 数値で表せない効果 （指標 ）									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 若者や子育て世代の転出等の影響により子どもが減っており、駅伝大会等の子どもの参加する事業の存続が難しくなりつつある。また、自治会に加入しない世帯が増えるとともに地域の高齢化も進んでおり、運動会や球技大会などの大人の参加する事業も参加者集めが難しくなりつつある。毎年開催している講座の中には、参加者が少なくなっているものもある。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	普通	重複なし	普通	改善の余地あり
点数	3	3	2	3	2	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	少子化、人口減少、高齢化等により存続の難しくなった各種事業を現状に合った形に見直しつつ、事業の存続や活性化に努め、地域のコミュニティ力向上の支援をしていく。参加者の減少している講座については、見直しを行っていく。				
	評価点合計	15	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	社公民館 係	事務事業No.	110438
事務事業名	社公民館一般経費			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 3
施策目標	社会教育の充実と活性化				
後期計画掲載頁		頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年 根拠法令・要綱等

事業の概要	施設管理費用。
事業の目的	施設の適正管理。
事業内容	貸館事業、公民館運営審議会、清掃業務委託、自動扉開閉装置保守点検業務委託など。

事業費	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	総事業費（決算額）	7,800 千円	8,881 千円	7,559 千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
一般財源		7,800 千円	8,881 千円	7,559 千円	

活動指標			平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	貸館日数	日	220	220	190	220	86.4%	200
	②								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	利用件数	件	383	346	272	350	77.7%	310
	②	利用者	人	5405	5120	4,870	5500	88.5%	5,000
	③								

2. 数値で表せない効果
(指標)

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等

公民館・民俗資料館は、昭和59年に建設され施設の老朽化が進んでいるため、年々施設の維持管理費も増加傾向にあります。また、公民館周辺のフェンスや樹木等については、手入れが行き届かない。

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である
	点数	3	3	3	3	3	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	地域の拠点施設として必要な施設である。				
	評価点合計	18 / 18					

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	社公民館 係	事務事業No.	110439
事務事業名	社公民館活動費			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 3
施策目標	社会教育の充実と活性化				
後期計画掲載頁		頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年 根拠法令・要綱等

事業の概要	地域の活動拠点施設として、主体的に公民館事業を実施したり、学習機会の提供・支援、コミュニティの構築を図る。
事業の目的	生涯学習のまちづくりと地域の絆づくり。
事業内容	体育事業、文化事業、講座事業、分館支援事業ほか。

事業費	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	総事業費(決算額)	664千円	655千円	681千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
一般財源	664千円	655千円	681千円		

活動指標			平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度(H28)	達成率	次年度(H29)	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	体育事業	回	2	4	4	3	133.3%	4
	②	文化事業	回	1	1	1	1	100.0%	1
③	講座事業	回	34	26	27	40	67.5%	35	

成果指標			平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度(H28)	達成率	次年度(H29)	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	体育事業参加者	人	604	610	630	650	96.9%	650
	②	文化事業参加者	人	294	231	273	300	91.0%	300
③	講座事業参加者	延べ人数	797	843	629	750	83.9%	750	

2. 数値で表せない効果
(指標)

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
住民の高齢化により、サークル活動が続けられない、又は辞めようかと悩む団体も多く、新規講座の検討などにより新規サークルを少しでも増やしたい。

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	普通	重複なし	高い	適正である
	点数	3	3	2	3	3	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント(評価結果による改善案や今後の取り組み方法等)					
	継続	少子高齢化とライフスタイルの多様化により参加者減の傾向にあるが、運動会や元旦マラソンなどの開催にあたっては、地域の枠を超えての参加者が定着してきており、毎年楽しみにしている方々が増えている様に思える。更なる発展に向けた取り組みをしたい。また講座等の学習的な取り組みとしては、社会環境の変化に合わせた関心を持って頂けるような活動内容に加え、現在の情報社会に合わせた活動内容への取組みと改善が必要と考える。					
	評価点合計	17 / 18					

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	八坂公民館	係	事務事業No.	1104310
事務事業名	八坂公民館一般経費			会計	一般会計	
まちのテーマ	人を育むまち			款	10	項 4 目 3
施策目標	社会教育の充実と活性化					
後期計画掲載頁		頁	個別計画			頁
事業期間	平成 18 年	～	平成		年	根拠法令・要綱等

事業の概要
 公民館の維持管理を行い、公民館活動の推進とともに地域住民の活動拠点として利用できる体制、整備を行い、利用促進を図る。

事業の目的
 公民館施設を適切に維持管理し、公民館の利用促進と公民館活動の推進を図る。災害時の避難施設として、常に開放できるように整備を図る。

事業内容
 電気料、電話料、水道料、燃料費、清掃委託料、浄化槽点検委託料、公民館長報酬、夜間管理員賃金等を支出して施設の維持管理を行った。

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
事業費	総事業費（決算額）	6,293 千円	5,250 千円	5,194 千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	6,293 千円	5,250 千円	5,194 千円

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	利用者数	人	1,817	1,307	1,364	1,300	104.9%	1,350
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	登録団体数	数	3	2	2	2	100.0%	3
	②							
	③							
2. 数値で表せない効果 （指標 ）利用者数は伸び悩み状態であるが、地域コミュニティの拠点として事業を推進している。								

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 高齢化や人口減により登録団体数が低調で推移している。団体の維持が難しくなっている実情もあるので、公民館としてどのような援助ができるか検討する必要がある。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
評価	普通	高い	普通	重複なし	普通	改善の余地あり	
点数	2	3	2	3	2	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	やり方改善	施設の活用方法等を検討するとともに、トイレの洋式化等、利用者の利便性向上に向けた修繕を実施する必要がある。				
	評価点合計	14	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	八坂公民館	係	事務事業No.	1104311				
事務事業名	八坂公民館活動費					会計	一般会計					
まちのテーマ	人を育むまち					款	10	項	4	目	3	
施策目標	社会教育の充実と活性化											
後期計画掲載頁				頁	個別計画							頁
事業期間	平成	18	年	～	平成		年	根拠法令・要綱等				

事業の概要
八坂地区の乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層に学習機会の提供を行い、地域づくり、人材育成を図る。

事業の目的
学級講座や文化、体育事業を通じて、地域住民の学習意欲の向上と、健康体力づくり、仲間づくりを行い、団体、サークルの育成をめざす。

事業内容
八坂地区市民運動会をはじめ、文化祭、子育て学級、高齢者学級、八坂塾等各学級講座を実施した。山村留学を行っている育てる会と連携し、通学合宿や登山を実施した。また、育成会をはじめ団体事業、図書貸し出し、学社連携による事業を開催した。

事業費	財源内訳	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
		総事業費(決算額)	1,688千円	1,225千円	1,290千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		起債			
		その他財源			
		一般財源	1,688千円	1,225千円	1,290千円

活動指標	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	達成率	目標値	
	①	文化事業	回	4	4	4	4	100.0%	4
	②	体育事業	回	5	5	5	5	100.0%	5
	③	学級講座	数	29	31	28	33	84.8%	28

成果指標	1. 数値で表せる指標	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度(H28)	達成率	次年度(H29)		
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	目標値		
	①	文化事業	人	300	400	395	300	131.7%	400
	②	体育事業	人	500	700	710	500	142.0%	700
③	学級講座	人	1,100	863	849	1,150	73.8%	850	

2. 数値で表せない効果
(指標) 公民館事業の実施により、住民の自治能力の向上や地域住民が交流する機会の創出により、地域の活性化に寄与している。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
高齢化や人口減により公民館事業に参加する人数を確保するのに苦慮している。また、講座等のマンネリ化を防ぐため、地域住民のニーズを的確に把握する必要がある。

評価	項目	必要性	有効性	効率性			
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である
	点数	3	3	3	3	3	3
評価	今後の方向性	方向性 継続 評価点合計 18 / 18					
		担当部課等のコメント(評価結果による改善案や今後の取り組み方法等) たけのご保育園、八坂小学校と合同で開催した八坂地区市民運動会は、第4回目となるが、世代間を超えた親睦と交流が図られ、元気で活力ある地域づくりに繋がった。高齢者学級は年10回開催しているが、毎回約60人の参加者があり、高齢者の生きがいづくりに繋がっている。八坂地区は少子高齢化が急速に進み年々参加者も減ってきているが、各年代を対象とした公民館活動はより積極的に継続していく必要がある。					

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	美麻公民館 係	事務事業No.	1104312
事務事業名	美麻公民館一般経費			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 3
施策目標	社会教育の充実と活性化				
後期計画掲載頁		頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年 根拠法令・要綱等

事業の概要	地区の活動拠点となる公民館のさらなる利用促進を図る。
事業の目的	公民館施設の適正な維持管理。
事業内容	公民館貸館、公民館報酬、公民館運営審議委員会報酬など。

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	4,551 千円	4,723 千円	2,592 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	4,551 千円	4,723 千円	2,592 千円

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	貸館日数	日	246	246	295	242	121.9%	295
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	利用件数	件	173	147	239	150	159.3%	250
	②	利用者数	人	2,671	2,491	4,443	2,500	177.7%	4,500
	③								
2. 数値で表せない効果 (指標)									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等

美麻公民館は支所に併設されていることから支所の会議等での使用が多い。公民館活動として対象者がある程度絞る等しながら、少ない人数でも社会教育活動の参加者促進をしていく。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である
点数	3	3	3	3	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	美麻公民館は美麻支所に併設されていることから、地域コミュニティの拠点として重要な施設である。				
	評価点合計	18	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	美麻公民館 係	事務事業No.	1104313
事務事業名	美麻公民館活動費			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 3
施策目標	社会教育の充実と活性化				
後期計画掲載頁		頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年 根拠法令・要綱等

事業の概要
 地区内の拠点である公民館を広く活用し、講座・教室等学習の機会を提供することで地域づくりを図る。

事業の目的
 地域文化の学習をはじめ、各種講座や教室、体育事業等を通じて地域の方の健康づくり、仲間づくりを目指す。

事業内容
 各種教室委では、0歳児対象の親子教室をはじめ、高齢者の運動や健康教室など幅広く実施した。支所民生係との共催により地区内各分館の公民館施設等で行った高齢者向けの教室は、地区の方が参加しやすい教室だった。また、春開催の運動会、夏開催の球技大会、冬開催の綱引き大会などの体育事業も開催した。

事業費	年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
	総事業費（決算額）		1,221 千円	1,201 千円	3,263 千円
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
一般財源		1,221 千円	1,201 千円	3,263 千円	

活動指標			平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	体育事業	回	4	4	3	4	75.0%	4
	②	文化事業	回	12	12	10	14	71.4%	12
	③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	体育事業	人	646	560	550	600	91.7%	600
	②	文化事業	人	1,308	2,125	1,537	1,300	118.2%	1,600
	③								
2. 数値で表せない効果 （指標）									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 公民館体育事業については、参加者が減少傾向にある。地区役員への負担も高くなっているため、運動会・球技大会等種目の変更を検討しながらも継続していく。また、文化事業については、サークルとして自主的に活動を始めた団体もあるので、地域の特性を生かした内容の事業を立案することが必要になる。

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	普通	普通	重複なし	普通	改善の余地あり
	点数	3	2	2	3	2	2
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	継続 評価点合計 14 / 18	親子教室は、子ども達の減少により参加者が減ってきてはいるが、親からの希望もあり保育園や学校、デイサービス等の交流なども取り入れながら今後も実施していく必要がある。体育事業の運動会については、競技種目の検討をはじめ、美麻小中学校との合同開催について考える必要がある。					

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	図書館	係	事務事業No.	110442				
事務事業名	図書館管理運営一般経費					会計	一般会計					
まちのテーマ	人を育むまち					款	4	項	4	目	4	
施策目標	社会教育の充実と活性化											
後期計画掲載頁				頁	個別計画						頁	
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等				市立大町図書館設置及び管理に関する条例施行規則

事業の概要
 図書館の管理運営並びに図書館協議会の組織及び運営を行っている。

事業の目的
 図書館の管理運営を円滑に行い、図書館活動の推進のため、市民の生涯学習び情報の拠点の場として図書館を提供することを目的とする。

事業内容
 図書館のコンピューターシステムの保守や警備等5件の業務について、委託契約を締結し、施設の管理運営を行っている等、地域住民の多彩な生涯学習、社会活動を支える場として機能するよう業務を行っている。

事業費	年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
	総事業費(決算額)		21,213 千円	23,872 千円	22,086 千円
	財源内訳	国庫支出金			
		県支出金			
		起債			
		その他財源			
一般財源		21,213 千円	23,872 千円	22,086 千円	

活動指標			平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度(H28)	達成率	次年度(H29)	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	開館日	日	282	289	287	288	99.7%	272
	②								
	③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度(H28)	達成率	次年度(H29)	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	来館者数	人	42,865	44,178	43,119	44,000	98.0%	43,500
	②								
	③								
2. 数値で表せない効果									
(指標 ①)・書架の配置換え、くつろぎ易い環境作りや、マナー向上の取り組みなど館内環境の整備を進める中で、本・雑誌・新聞等の閲覧や調査など、図書館で時間を過ごす利用者が増加している傾向が見られる。									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 市民の生活の中に図書館が届いていない。図書館を利用していない人に、図書館サービスを楽しんでもらうためにも、非利用者、市民、地域ニーズを知ることが最も重要であり、図書館職員として地域課題を知り、それに関する選書をする必要がある。貸出数や来館者数といった数値化しやすい指標だけでなく、顕在化されていない利用者の要望を満たすための選書を行うためにも、専門性の高い職員の確保と人材育成が喫緊の課題である。(現在、司書は臨時職員1名のみ)

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	普通	重複なし	高い	適正である
	点数	3	3	2	3	3	3
評価	今後の方向性	担当部課等のコメント(評価結果による改善案や今後の取り組み方法等)					
	継続	①開館10年以上経っており、視聴覚機器などを中心に陳腐化しているものを計画的に更新をしていく。 ②平成25年度から、地震発生時の本の落下を防ぐため、児童コーナーの書棚の高い部分には落下防止シートを設置し、利用者の安全対策を図っているが、一般図書コーナーの書棚においても引き続き設置を進めていく。 ③市人口の減少や読書に変わる娯楽の多様化などにより利用者数は減少傾向にあるが、地域住民のニーズに対応すると共に図書館を生涯学習や読書活動の場として提供していくことが必要である。					
	評価点合計	17 / 18					

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	図書館	係	事務事業No.	110443	
事務事業名	図書資料購入事業					会計	一般会計		
まちのテーマ	人を育むまち					款	項	目	
施策目標	社会教育の充実と活性化								
後期計画掲載頁		頁	個別計画						頁
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等 市立大町図書館設置及び管理に関する条例施行規則			

事業の概要
 図書館資料の購入。

事業の目的
 市民が必要とする資料を選定及び購入することにより、「」図書館の役割を強化し、来館者の増加や図書館活動の質的向上を図ることを目的とする。

事業内容
 市民のニーズに適合した資料の選定及び購入。
 市民のリクエスト本の購入。
 図書館ならではの専門的な知識を得るための資料の購入。
 図書資料の収集、整理。
 返却本の修理。

事業費	年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
	総事業費（決算額）		7,722 千円	8,238 千円	8,154 千円
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
一般財源		7,722 千円	8,238 千円	8,154 千円	

活動指標	指標名		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①						—	—	—
	②						—	—	—
	③						—	—	—

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	図書購入	冊	4,200	3,943	3,768	4,000	94.2%	3,800
	②								
	③								
2. 数値で表せない効果									
（指標 ）大活字本、大型絵本、大型本、自然科学、芸術などの分野の図書の拡充により、図書館への興味や生涯学習の意識が高まり、専門的知識も向上したと考えられる。									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 図書館資料を購入するうえで、最も重要なのが『選書』である。『選書』は地域の実情、市民の要求と利用状況、地域文化、総合計画、財政状況を考慮しなければ適切な『選書』は成り立たない。また、現在の利用者のニーズや人気の本というだけではなく、郷土資料など20年後の人たちのための『選書』を行わなければならない。そのためには長期的な視点で考える専門性の高い人材確保と人材育成が喫緊の課題である。（現在、司書は臨時職員1名のみ）

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	普通	重複なし	高い	適正である
	点数	3	3	2	3	3	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	大北地域の図書館としてふさわしい選書を行い、専門的なサービスを充実させるとともに、生活や学習に役立つ資料・情報の収集とレファレンスを向上させ、市民の課題解決に役立つ図書館サービスを充実させるために、今後は、資料保存の拡充、市民や有識者の意見を選書に取り入れる工夫、選書を担当する司書の能力向上に取り組みたい。				
	評価点合計	17	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	文化会館	係	事務事業No.	110452			
事務事業名	文化会館管理一般運営経費					会計	一般会計				
まちのテーマ	潤いのあるまち					款	10	項	4	目	5
施策目標	歴史文化の振興										
後期計画掲載頁	109		頁	個別計画		第4次生涯学習プラン				15	頁
事業期間	平成	19	年	～	平成	28	年	根拠法令・要綱等			

事業の概要
文化会館・サンアルプス大町の施設の管理、運営を行う。

事業の目的
文化会館・サンアルプス大町の施設を安全、適正に管理、運営を行う。文化会館の舞台機構等設備を計画的に順次更新する。

事業内容
文化会館運営委員会の開催、文化会館等管理臨時職員賃金、文化会館等需用費、文化会館等役務費、文化会館等委託料(清掃・空調保守点検・舞台音響保守点検・舞台照明保守点検・舞台機構保守点検・警備・エレベーター・自動ドア等)工事請負費(便所洋式化、空調機器改修、舞台照明設備改修工事)

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費(決算額)	74,874 千円	80,965 千円	84,842 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	4,379 千円	4,738 千円	4,644 千円
	一般財源	70,495 千円	76,227 千円	80,198 千円

指標名		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度(H28)	達成率	次年度(H29)
指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	貸館日数(サンアルプス)	日	289	280	291	289	100.7%	290
②								
③								

1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度(H28)	達成率	次年度(H29)	
指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	サンアルプス利用者数	人	29,816	19,987	17,803	21,000	84.8%	20,000
②	サンアルプス利用回数	回	516	475	470	500	94.0%	500
③								
2. 数値で表せない効果		(指標)						

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
施設の老朽化が進み計画的な改修工事が必要となっている。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	改善の余地あり
点数	3	3	3	3	2	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント(評価結果による改善案や今後の取り組み方法等)					
	今後の方向性	継続	大町公民館と一体となった運用を行い、使い勝手の良い施設として機能している。一方で施設の老朽化が進み維持補修に多くの財源を必要としており、今後のあり方や指定管理を含めた運営の方向を模索する必要がある。				
	評価点合計	16	/ 18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	文化会館	係	事務事業No.	110453			
事務事業名	文化会館公演事業					会計	一般会計				
まちのテーマ	潤いのあるまち					款	10	項	4	目	5
施策目標	歴史文化の振興										
後期計画掲載頁	109		頁	個別計画		第4次生涯学習プラン				15	頁
事業期間	平成	19	年	～	平成	28	年	根拠法令・要綱等			

事業の概要
市民のニーズに合った舞台芸術にふれる機会を提供し、舞台芸術との出会いを通して、生きる喜びや感動を伝え、潤いのあるまちづくりを推進する。

事業の目的
舞台芸術にふれる機会の少ない市民が気軽に楽しく芸術文化にふれあうことができるよう、文化会館を中心とした継続的な芸術文化活動の促進や鑑賞機会を提供する。

事業内容
8/30ペコロスの母に会いに行く、9/17フォレストコンサート、11/5湯澤かよ子ライブ、11/21劇団四季「ウエストサイー物語」、2月9日～11日芸術文化ふれあい拡充事業、3/25大黒摩季コンサート
11/2～13市民芸術祭
10/7よしもと秋のお笑い祭り、11/9劇団四季こころの劇場「ガンバの大冒険」
12/25開館30周年記念式典・第9演奏会、NHK公開録画「民謡魂 ふるさとの唄」

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	30,968 千円	26,333 千円	37,510 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	9,753 千円	10,114 千円	18,929 千円
	一般財源	21,215 千円	16,219 千円	18,581 千円

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	文化会館自主事業	回	12	8	11	10	110.0%	10
②	文化会館利用数	回	120	103	139	100	139.0%	100
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	文化会館自主事業入場者数	人	4,539	5,416	7,791	5,500	141.7%	6,000
	②	文化会館入場者数	人	31,815	26,872	29,708	38,000	78.2%	30,000
③									
2. 数値で表せない効果 (指標)									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 建築後31年が経過し、施設の老朽化が進んでおり、今後ソフト面での機能をはたすためにも、ハード面の整備が必要である。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	改善の余地あり
点数	3	3	3	3	3	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	市民の文化芸術活動の発表の場であると共に、日頃接することの少ない芸術性高い芸術や娯楽の場としての位置づけがある。今後一層市民文化芸術活動の発表の場としての機能が求められている。一方で、建築後30年が経過し、施設の老朽化が進んでおり、今後ソフト面での機能をはたすためにも、ハードの整備が必要であり、計画的に施設改修を行っていく。				
	評価点合計	17	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会	生涯学習課	文化財係	事務事業No.	110461
事務事業名	文化財保護一般経費			会計	一般会計
まちのテーマ	潤いのあるまち			款	10 項 4 目 6
施策目標	歴史文化の進行				
後期計画掲載頁	109	頁	個別計画	大田市社会教育計画（第6期）	31-34 頁
事業期間	昭和	61年	～	平成	年
	根拠法令・要綱等 文化財保護法、大田市文化財保護条例、文化財保護補助金交付要綱				

事業の概要
 大田市には、国・県・市指定の文化財が数多くの文化財が存在する。これら文化財の保存と継承活動を推進するとともに地域創出の資源として活用する。

事業の目的
 文化財保護の推進と地域活性化のための文化財の積極的な活用ができるよう、歴史や文化に触れ合う場を目指す。

事業内容
 文化財に関する講座・見学会の実施。
 指定文化財、未指定文化財の調査研究。
 指定文化財等の保存修理および文化財保護・活用に対する支援（保護事業助成）。

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	7,956 千円	5,498 千円	4,712 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	269 千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	7,956 千円	5,229 千円	4,712 千円

活動指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	文化財めぐり・講座等開催数	10	8	8	12	66.7%	10
②	文化財保護事業費助成件数	4	3	5	5	100.0%	3
③	指定・未指定文化財調査件数	4	4	4	4	100.0%	4

1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	文化財めぐり・講座等参加人数	468	408	416	500	83.2%	50
②	文化財保護事業助成金額	2,080	1,597	2,016	2,195	91.8%	1,683
③	説明板・案内板設置件数	2	1	2	2	100.0%	2

2. 数値で表せない効果
 （指標）

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 文化財保護事業費の助成は、文化財所有者負担金が伴うことから、事業費の確保ができてから助成の判断をすることから件数・金額はその年により増減が出てくる。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	高い	高い	一部重複	高い	適正である
点数	3	3	3	2	3	3
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	継続 評価点合計 17 / 18	国民・市民共有の財産と位置づけられる文化財を後世に継承していくため、保存・整備を推進・継続し、文化財所有者との連系を深めて、地域資源として活用していくことが必要である。				

事務事業評価表

担当課	教育委員会	生涯学習課	文化財係	事務事業No.	110462
事務事業名	遺跡発掘調査事業			会計	一般会計
まちのテーマ	潤いのあるまち			款	10 項 4 目 6
施策目標	歴史文化の振興				
後期計画掲載頁	109	頁	個別計画	大田市社会教育計画（第6期）	31-34 頁
事業期間	昭和54年	～	平成	年	根拠法令・要綱等 文化財保護法

事業の概要	地中に埋もれている埋蔵文化財（遺跡）の情報を把握し、その成果を歴史教材として活用する。
事業の目的	埋蔵文化財の保護・活用。記録保存。
事業内容	学術発掘調査、緊急発掘調査（記録保存）、発掘調査現地見学会、遺跡試掘調査の実施。

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	2,556 千円	7,431 千円	3,891 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	7,431 千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	2,600 千円
	一般財源	2,556 千円	千円	1,291 千円

指標名		単位	平成26年度 実績値	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	前年度（H28） 目標値	達成率 （%）	次年度（H29） 目標値
①	発掘調査件数	件	1	2	1	2	50.0%	1
②	試掘調査件数	件	4	4	4	4	100.0%	4
③								

1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値	
①	発掘調査面積	m ²	200	900	165	160	103.1%	25
②	埋蔵文化財の有無の問い合わせ件数	件	40	42	57	50	114.0%	60
③	調査遺跡内容							
2. 数値で表せない効果 （指標③）調査遺跡の内容は遺跡によって時代・範囲等に違いがあり、その成果内容も違ってくる。								

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等

発掘調査は、学術調査、記録保存のための緊急発掘調査、開発対象地の試掘調査に分けられ、年度により事業のばらつきがある。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	普通	一部重複	高い
点数	3	3	2	2	3	3
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	継続 評価点合計 16 / 18	発掘調査は、その年により、開発等の関係などにより実施件数が違ってくる。				

事務事業評価表

担当課	教育委員会	生涯学習課	文化財係	事務事業No.	110463
事務事業名	文化財センター管理事業			会計	一般会計
まちのテーマ	潤いのあるまち			款	10 項 4 目 6
施策目標	歴史文化の振興				
後期計画掲載頁	109	頁	個別計画	大田市社会教育計画（第6期）	31-34 頁
事業期間	平成13年	～	平成	年	根拠法令・要綱等 文化財保護法、大田市文化財センター設置及び管理に関する条例

事業の概要
大田市に関係する歴史・民俗ほかについて学習・研究する場とする。

事業の目的
大田市における歴史、民俗その他の資料を保管・展示・調査研究をおこない文化財保護の推進を図る拠点とする。

事業内容
歴史・民俗資料調査研究、収蔵、企画展の実施。資料（史料）の公開。

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	1,295 千円	1,175 千円	1,250 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	1,295 千円	1,175 千円	1,250 千円

活動指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 企画展の開催	回	1	1	1	1	100.0%	1
②							
③							

1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 資料公開・閲覧利用者数	人	28	54	48	50	96.0%	50
② 企画展見学者数	人	67	37	56	50	112.0%	50
③							
2. 数値で表せない効果							
(指標)							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
講座など文化財保護一般経費事業と重複する点が多く、センター管理が主となる。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	普通	一部重複	高い	適正である
点数	3	3	2	2	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	他の文化財保護事業と重複する部分が多いため、施設の管理、資料の保管を中心とする。				
	評価点合計	16	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会	生涯学習課	文化財係	事務事業No.	1104625
事務事業名	中村家住宅管理事業			会計	一般会計
まちのテーマ	潤いのあるまち			款	10 項 4 目 6
施策目標	歴史文化の振興				
後期計画掲載頁	109	頁	個別計画	大田市社会教育計画（第6期）	31-34 頁
事業期間	平成18年	～	平成	年	根拠法令・要綱等 文化財保護法、重要文化財旧中村家住宅管理条例

事業の概要
有形文化財のうち、特に重要とされ、国重要文化財に指定された旧中村家住宅の保存と活用を図り、公開し、文化財保護を広く普及啓発する。

事業の目的
重要文化財建造物の公開を通して、地域の文化と歴史にふれあう場とする。

事業内容
毎年4月から11月までの8ヶ月間重要文化財建造物を公開、維持・管理を行っている。

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	1,981 千円	3,771 千円	1,799 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	264 千円	89 千円	206 千円
	一般財源	1,717 千円	3,682 千円	1,593 千円

活動指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	旧中村家住宅公開日数	180	160	180	180	100.0%	180
②							
③							

1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	旧中村家住宅入館者数	954	447	748	900	83.1%	900
②							
③							

2. 数値で表せない効果
(指標)

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
平成18年合併時より重要文化財公開事業を引き継いでいるが、年々見学者数が減少しつつあったが、平成25年度には、入館者が増となったが、26年度には再び減少。27年は、保存修理事業と並行しての公開であったので入館者は半減。28年度は26年度よりも減少傾向であった。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	普通	普通	一部重複	普通	適正である
点数	3	2	2	2	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	市街地から離れている場所に所在することから、なかなか見学者の増加は見込めないが、美麻地区と連携し継続して保護・活用に努める必要が考えられる。				
	評価点合計	14	18				